

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野清宇

名古屋千種ロータリークラブ
 承認 1982年 8月24日
 例会日 火曜日 12:30
 例会場 名古屋東急ホテル
 事務局 TEL763-5110 FAX763-5121
 会長 三好 親
 幹事 伊藤 健文
 広報会報委員長 吉田 玄

No. 31

地域を育み、大陸をつなぐ

BUILDING COMMUNITIES BRIDGING CONTINENTS

2010~2011年度 RI会長 レイ・クリンギンスミス

今日の例会

第1355回 平成23年3月22日(火)

卓話 “識字率向上について”

地区識字率向上委員会委員長 鈴木 吉男 様

先週の例会

第1354回 平成23年3月15日(火) 晴

講演 “被害者サポートセンターの概要”

財団法人被害者サポートセンターあいち
事務局長 神戸 日次 様

黙 禱

◆それこそロータリー

◆ゲスト紹介

財団法人被害者サポートセンターあいち

事務局長 神戸 日次様

研修医

西尾麻矢子様

◆出席報告

会員 42 (36) 名 出席 26 名

出席率 72.22 %

前々回 3/1 (修正出席率) 94.44 %

伊藤幹事報告

1) 本日例会終了後、理事役員会を開催致しますので、理事役員の方は4階桐の間にお集まり下さい。

2) 次回例会終了後、諮問会を開催致しますので、諮問会担当者はお残り下さい。

三好会長挨拶

この度の、大震災被災者のお話して『生きているだけで良い！生きていてくれるだけで良い！』極限状態の中、殆どの人が同じ事を仰ってました。普段は中々思わない事があります。

自分が生きている喜び。そして、普段何気なく私達が使っています電気、ガス、水道等(ライフライン)の有り難さを今回ほど、強く、強く！感じた事は初めてです。とてつもない大災害が東北・関東で起こりました。

最初、被災現場の映像を見た時、太平洋戦争で原爆投下された直後の広島被災状況と全く同じでした。思わ

ず背筋が寒くなり、大変な恐ろしさと深い悲しみを感じました。これは戦争と同じです。

日本国民全体で助け合い、頑張って復興しなければなりません。決して他人事と思っはけません。

今、世界中の人達が心配してくださり、励ましてくれています。そして、支援して下さいます。

ロータリークラブとして、ロータリアン個人として何かしなければなりません。今こそ、ロータリー精神を発揮する時です！！！！

皆様の支援をお願い致します。

◆講演 “被害者サポートセンターの概要”

財団法人被害者サポートセンターあいち

事務局長 神戸日次様 (紹介吉田君)



社団法人被害者サポートセンターあいちは、平成10年2月に設立された県下でただ一つの民間団体であります。設立当初は、電話相談が主体でありましたが、平成16年に犯罪被害者等早期援助団体の指定を愛知県公安委員会からいただいたころから、大きく支援活動の内容が変わってきました。一口に言いますと裁判所への付き添いなどの直接支援が主体となってきております。被害者の元へ出向いて被害者の方が今何を必要とされているのかを共感し、少しでも早い段階から支援をさせていただくことに努めているところであります。

当センターが関わる事件は、ほとんどが刑事裁判になっていくことから、被害者の方に刑事手続きとか司法制度についての説明や意見陳述書の作成等の実務的な支援が必要となってきております。

平成12年頃から刑事訴訟法が改正され、ここ数年は、被害者参加制度、裁判員裁判、損害賠償命令制度、そして検察審査会法の改正等、矢継ぎ早に制度改正がされ、益々支援も実務的に複雑になってきております。

直接支援活動の次に大きな柱としましては、被害者の方

の精神的なケアであります。当センターは、現在5名の犯罪被害者に精通した臨床心理士さんと契約して事件発生から早い段階でのカウンセリングを実施しております。私は、この仕事を携わって初めて、被害者の方は、被害に遭った直後は、自分で感情のコントロールができない状態になっておられるということや、誰もがそのような状態になり、決してはずかしいことでも、弱いからなるのではなく、早い段階での感情の表出をしていただくことが大切であることを知りました。

次に、当センターの財政基盤を支えていただいているのは、会員様の会費であります。約500の個人・法人の方々の支援の上に成り立っております。その他、愛知県、名古屋市、赤い羽根共同募金会、犯罪被害救援基金のご支援をいただいて運営をいたしております。

次に体制面ですが、常勤者は2名で、他の30名のほとんどはボランティア的非常勤者であります。支援対象事件を警察から引き継いだり、電話相談からSOSを認知した場合は、支援活動への事前打ち合わせを行い、支援活動員同士の意思統一をし、被害者の方に逆にご負担を与えることのないようにしています。そして、被害者の方のご都合をお聞きし、出向き、お話をお聞きすることにはじまります。

当センターの支援活動員は、全て女性であります。一部社会福祉士等の資格を持った支援活動員もおりますが、ほとんどがごく普通の、他にも仕事をもっている女性であります。しかしながら、支援活動をしていくためには、法律だけでなく、幅広い知識が必要であることから、全国レベルでの研修に参加することは勿論、自ら学習して活動を行っています。その他、精神面や生活面にもゆとりがなければ、この支援活動はできないということを自覚し、スーパーバイザーにカウンセリングを受けるなどしております。

次に、民間団体として、今後どのような方向性で取り組んでいくかであります。

6年前に被害者等基本法が施行され、国・地方公共団体は、被害者支援の責務を負うとされたことから、基本計画に基づきいろいろな施策が進められようとしております。したがって、当センターは、公的機関と連携をとって公的機関(全体の奉仕者)ではできないことを、民間団体だからできることをやっというと思っています。

現在、当センターが関わっている事件は現在20件ほどありますが、一番多いのが殺人事件であり、後は性犯罪と交通事件であります。そして、判決が確定した事件から、未解決事件、被害者参加制度適用事件、裁判員裁判制度適用事件と様々であります。

最後に、被害者の方は、十分に自立能力をもった方です。自己決定を尊重し、常に対等な関係で寄り添い支援をしていきたいと思っております。

東日本大地震の被害者の皆様に元気に頑張って頂きます様、募金を致しました。

本日の総額 236,000円

◆ 3月理事役員会議事録

- 2011～2012年度会場設営委員長の件。
渡邊源市君より油田弘佑君決定 承認
- 地区委員会(2011～2012年度)登録料の件。
大口弘和 危機管理委員会 副委員長
渡邊源市 職業研修チーム委員会 副委員長
池森由幸 広報委員会 委員
クラブ奉仕より拠出する。 承認
- 東日本大地震災害義援金の件。
本日募金で236,000円となりましたが本日欠席の方にはFAXにて募金をお願いをする。
募金+特別積立基金=50万義援金とする。 承認
- ニュージーランド地震災害義援金の件。
特別積立基金より10万円寄付 承認
- 2011～2012年度委員会組織表報告の件。
次回例会にて配布する。
- 次年度財団補助金申請報告の件。
東山総合公園イベントプロジェクト7/31(日)開催
会員20名ほど参加協力の依頼をする
桜花学園インターアクト参加協力を依頼

キャン・ヘルプ・タイランド

創立15周年より13年余り支援をしております。今年度も現在、ご協力をお願いしており、現在16名の方々よりお返事を頂いております。

奨学金プログラム
ランチプログラム
建設プログラム
図書支援プログラム 等々
御協力をお願い致します

国際奉仕委員長 小山雅弘

ニコボックス

池森 由幸
研修医の西尾先生をお連れしました
宜しくお祈りします
小山 雅弘
東京上野で地震に遭いました 未体験の揺れでした
大都市災害のいい勉強としました
油田 弘佑 足立 一郎 萩原喜代子
林 正路 堀江 宏輝 伊藤 健文
加藤 重雄 小杉 啓彰 松居 敬二
三好 親 尾関 武弘 佐久間良治
鈴木 理之 高橋 智尚 竹内 眞三
舎人 経昭 和田 正敏 吉田 節美
神戸さん お話よろしくお祈りします



合計 24,000円

次回例会 平成23年3月29日(火) 3階 錦の間
友愛の日 朱美栄さん終了挨拶